



ときわ呉 一周年記念

「開設から一周年に寄せて」

「ときわ呉、開設1周年を迎えて」

社会福祉法人広島県リハビリテーション協会

会長 河内 昌彦

ときわ呉の開設1周年を迎え、この施設に對しまして、ご支援ご協力を頂きました皆さまに心より厚くお礼申し上げます。

さて、「千歳を觀んと欲すれば、則ち今日を審かにせよ」と荀子の言葉があります。未来を予測する場合、未来だけを見ても仕方がない。今日の事を明確に知ることが大切である。という教えであります。常に「原点」をみながら、日々、医療福祉の推進を図ることは、とても、大切なことです。

施設は、ご利用いただく方々のための施設であり、地域のための施設です。言わば、地域とともに歩む施設として、ご利用いただく方々をはじめ、地域に愛され、地域の医療福祉の向上と発展に向けて、今後、夢や希望、そして、情熱をもち、建設的かつ着実に、足元を固めて一歩ずつ前進し、そうした将来の展望につなげたいと、役職員一同、尽力いたす考えであります。

引き続きまして、皆さまのご厚情とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

「ごあいさつ」

社会福祉法人広島県リハビリテーション協会

副会長 畑中 一晃

「ときわ呉」開設1周年を迎えるに当たり一言ご挨拶申し上げます。

かつて県内の重症児施設は、呉地区のみ未整備で、関係の方々から長年整備の要望がありました。当時、片山義弘当法人前会長は、呉地区に身近に利用できる施設がない実情を知り整備を決意されました。申すまでもなく、施設は、片山義弘先生一人では決して整備できるものではなく、重症児や保護者の皆様をはじめ、広島市民病院元院長岡崎先生、呉市や県、財務局呉支部、地元の皆様など多くの方々のご支援とご協力あつてのことであり、改めて心から感謝する次第でございます。また、開設以来、施設長をはじめ職員のみなさんには、日々利用者の方々へのQOL向上に向けて、献身的な療育に努めていただいておりますことに対し、感謝申し上げます。

今後とも皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

